

岩倉市行政評価委員会

第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書

1 はじめに

岩倉市行政評価委員会において、第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく令和6年度までの評価について、令和7年5月27日に審議を行った。その評価を次のとおり取りまとめたので報告する。

2 総括

第2期岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間は、令和3年度から令和7年度までとなっている。令和8年度以降の次期総合戦略の策定を令和7年度中に行うに当たり、令和6年度までの実績について評価を行うもので、市から自己評価等が示され、本委員会において、この評価等により取組の進捗について審議した。その結果は、以下のとおりである。

基本目標1 健幸のまち・地域共生社会を形成する

公園の充実や維持管理は評価できる。一方で、五条川健幸ロードの西側住民へのアクセス性向上や、市民がこぞって集える代表的な公園の整備、さらに岩倉団地における高齢者の外出支援と民生委員の活動体制強化には課題があるため、これらを着実に進めていくことを期待する。

基本目標2 子育て世代の移住・定住を促す

子育て世代の移住・定住促進において、利便性の高いまちであることは評価できる。一方で、子育て・出産環境の更なる充実として、児童館やファミリー・サポート・センターの利用環境改善、産婦人科不足への対応、発達支援体制の強化に課題があるため、改善を期待する。また、持続可能なまちづくりに向けた市街化区域の見直しと空き家対策も進めていく必要がある。

基本目標3 都市の活力・にぎわいと関係人口を創出する

「わくワークいわくら」の発行や、関係人口増加に向けた明確なターゲット設定が進められていることは評価する。一方で、より実践的な仕事体験機会の充実には課題があり、今後検討していく必要がある。

基本目標4 安全な暮らしと強くしなやかで持続可能な社会を実現する

行政区加入率の低下、防災訓練の情報周知に課題があるため、改善を期待する。スマートICについては、整備後の地域の活性化が重要となるため、どのような計画が進められていくのか期待する。

これらの評価は、本委員会において市の自己評価及び説明に基づき実施したものである。本委員会の評価として、全体としては目標指標は設定した数値に向かって順調に推移しているものがほとんどであり、4つの基本目標達成に向けて着実に進んでいるものと評価している。しかしながら、「市民1人当たりの都市公園面積」、「幼い子どもを育てる所として“良い”と思う市民の割合」、「岩倉駅周辺ににぎわいがあると思う市民の割合」、「個別避難支援計画の作成数」等の指標においては目標数値との間に乖離が見られることから、残りの計画期間において目標達成に向けて引き続き、各種取組の改善や努力を期待するとともに、これまでの状況と評価結果を踏まえて次期総合戦略策定作業を進めていただきたい。

なお、基本目標毎に評価シートに本委員会からのコメントを付したため、各担当課においては、記載した内容を意識しながら引き続き取り組んでいただきたい。

3 実施日時

開催日時	会場
令和7年5月27日（火）午前9時から	市役所7階 第2・3委員会室

4 岩倉市行政評価委員会委員名簿

	氏名	選出区分
委員長	千頭 聡	識見を有する者
副委員長	小松 尚	
委員	堀井 一宏	企業の代表者 労働組合の代表者 市民活動団体の代表者 市民の代表者
	大橋 秀樹	
	山中 卓	
	村上 貴司	
	三輪 紀光	
	長坂 菜緒子	
	服部 正敏	
吉田 朋恵		